

2018年9月10日

～毎月10日は人権を考える日～

気を付けたい「話し方」

コミュニケーション能力を高めるために、まずは「聴く」ことが重要だということを、以前のチラシでお知らせしました。今回は、気を付けたい話し方について考えてみたいと思います。

1 会話の主導権

あなたの周りに会話の主導権を無理やり握り、会話全体をすべてコントロールしようとする人はいませんか？相手が話す内容を勝手に決めたり、無理やり会話の方向転換をしたりと、自分勝手に振舞う話し方をする人が…。このような話し方をしてしまうと、相手に不快感を与えることが多いものです。

そのために・・・

まず、相手の話を聞くことに意識を向けることが大切です。そして、相手の話をできるだけ受け入れようとする姿勢をもつことです。そうすれば、相手は一緒にいて心地よさを感じてくれます。

2 上から目線で話す

上から目線で話をするということは、よい話し方とは言えません。当然、上から目線で話をされて嬉しがる人はいないでしょう。したがって、上から目線で話をする人に対しては、本音で話をしたいと思うのでしょうか。

そのために・・・

上から目線で話をしてしまう人は、意識していない場合が多々あります。だからこそ、自分が上から目線で話をしていることにすら気が付かない人が多いものです。

そこで、次のことを心がけていくといいと思います。関わるすべての人と人間として対等だと意識をし、接することです。年齢や、地位、学歴などで人を判断するのではなく、人間という存在として対等だという意識を持つだけで接し方は大きく変わります。

西条市人権教育協議会

西条市教育委員会

